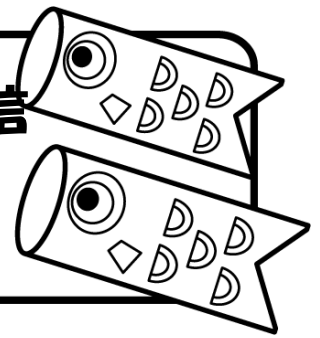


青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和5年度 第210号 5月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行



今月号では、今年度の保小中の重点目標を保育園長、小中学校長にお伺いしました。

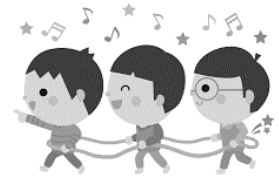


令和5年度 青木村保育園の保育目標

園長 成沢 亮子

青木村保育園長の成沢亮子と申します。本年度も引き続きよろしくお願いたします。

令和5年度の園児数は、109名（年長児26名、年中児22名、年少児31名、未満児30名）からのスタートとなっています。このうち24名のお子さんが新たに入園し、未満児における年度の途中入所児は11名を予定しています。本年度も3割強が未満児による入所となっています。昨年度、未満児保育室を増築いただきましたが、夫婦共働き世代を支える青木村保育園として期待に沿えるよう引き続き保育環境を整えていきたいと思ひます。



さて、4年目となるコロナ禍もようやく終息期へ向けての転換期となる年となりそうです。5月には新型コロナウイルス感染症が2類からインフルエンザ相当の5類へ移行すると言われてています。しかし、コロナ感染症がなくなるわけではありません。引き続き感染症対策は必須かと思ひますが、地域に根ざした青木村独自の保育を取り戻していきたいと思ひます。

次に、青木村保育園の園目標「笑顔あふれる保育園～遊びに挑戦する子どもたち～」について内容をご紹介します。

- 1、外遊びを中心にした遊び込みにより、五感をフルに使って自分で考える力をつける（～意欲～）
- 2、自然豊かな青木村の地域資源をフルに活用し、信州型自然保育への取り組みを行なう（～やり抜く力～）
- 3、地域の皆様、ご家庭、保育者、すべての人とのつながりを持つ中で子どもたちと向き合う関りを大切にする（～他者への思いやり～）
- 4、支援体制を整え一人ひとりの成長発達を見守る（～自己肯定感～）
- 5、保小中一貫教育を通して交流を行いスムーズな就学移行を目指す（～保小の連携～）



上記は、保小中一貫教育として掲げている「教育委員会の重点」を基盤に設定しています。小学校、

中学校との連携を大切にしながら切れ目のない移行を目指しています。

3月の年度末に微笑ましい光景がありました。新年度準備希望保育に登園していた子どもたちは、お天気も良く毎日村のあちらこちらをお散歩していました。そんな折、お散歩をしている子どもたちを見て気遣ってくださった地域の方より「水仙がたくさん咲いているので持ちに来ませんか？」とお電話をいただきました。次の日さっそく子どもたちはお散歩に出掛けブーケの様な色鮮やかな水仙をたくさんいただき、帰りに嬉しそうに二輪ずつ家に持ち帰っていきました。地域の方の温かいお気持ちと春一番の水仙の花に心が和んだ一場面でした。

本年度も地域の皆様に見守られあおきっ子の子どもたちが笑顔いっぱいにご過ごせます様、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



令和5年度 青木小学校学校運営の重点
笑顔あふれる学校～

校長 中上 敬介

令和5年度は、28名の新1年生を迎え、全校児童183名でスタートいたしました。校長の中上敬介です。青木小学校2年目になります。今年度も『笑顔あふれる学校』を目指します。よろしくお願いいたします。

さて、学校教育目標『あかるい子 かしこい子 たくましい子』の具現に向けて、今年度は3つの重点目標を設定しました。全職員一丸となって取り組んでまいります。



① あいさつ

～自分らしいあいさつをしよう～



「自分らしいあいさつ」としたのは、いろいろなあいさつがあっていいと思うからです。自分から気持ちよくあいさつできる人もいるでしょう。会釈しながら丁寧にあいさつできる人もいるでしょう。反対に恥ずかしくてなかなか声が出ない人もいるでしょう。勇気が出ず自分からはあいさつできない人もいるでしょう。ただ言えることは、あいさつはしてもされても気持ちがいいということです。小さな声でもいい。自分らしいあいさつを大事にしてほしいと思います。

② 学び合い

～自分の考えを言ったり、友だちの考えを聞いたりしながら、一緒に深めていこう～
日々の授業改善に取り組みます。子どもたちが興味深く学び、友と関わりながら主体的に考え、生涯に渡って生きて働く学力を目標とします。そのために「表現する力」と「聴く力」を日々の授業でしっかり育んでいきたいと思っています。



③ 体づくり

～友だちと関わり、元気に遊ぼう～

～気づきの掃除を大事に、友だちと磨きあおう～

いろいろな友だちと関わり、元気に遊んだり掃除したりできる子を目指しま



す。今年度は、日課を変更し水曜日は清掃をなくし、長い昼休みの時間を設けました。また水曜日は全校5時間授業としました。ゆとりのある日課にすることで、子ども同士の関わりを増やし、よりよい人間関係を構築してほしいと願っています。



この3つの重点目標に共通していることは『つながり』です。子どもたちが、楽しく充実した学校生活を送るためには、友だちとのつながり、先生とのつながり、お家の方や地域の方とのつながりが欠かせません。

学校が、安全安心な場所であると同時に、安全安心な人間関係、つながりがあることが重要です。そこが土台となって、互いに思いやる空気が生まれ、自分で自分の学びを切り開いていく豊かな力を育てていけると考えています。



また、子どもたちの健やかな成長には、ご家庭や地域の皆様との『協働』が必要です。子どもたちの様子でいいなと思う姿や、向上した姿が見られましたら、共に子どもたちを認め励ましていただけたらと思います。また気にかかる点がありましたら、どんな些細なことでも学校へお声がけ下さい。

ご家庭と地域の皆様と手を携え、子どもたちの教育にひたむきに取り組んでまいりたいと思います。ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。



令和5年度教育活動の重点

校長 箕田 大輔

今年度より青木中学校の校長として着任した箕田大輔(みのだだいすけ)と申します。どうぞよろしくお願い致します。

本年度は、28名の新入生を迎え、全校生徒87名のスタートとなりました。残念ながら昨年よりもクラス減ってしまいましたが、より子ども一人一人のかかわりが深くなり、絆が強くなる学校を目指していきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症については、ようやく落ち着きを見せ始めてはいますが、様々な学校活動や行事につきましては、コロナ後の新たな社会に向けて、職員と議論を重ね、子どもたちの成長にとって最適な方法を探っていきたいと考えています。



一方で、保護者の方や地域の皆様に支えられている本校の特徴を生かして、各学年で故郷青木村について学ぶ時間を「総合的な学習の時間」において位置づけたいと考えております。また、伝統芸能や義民太鼓については、感染対策を講じながら取り組んでいきます。

以下、今年度の教育活動の重点を中心に述べさせていただきます。

(1) 本校では大切にしたい5つの姿があります

学校教育目標「強い意志・思いやり・郷土愛」を体現する生徒の姿をイメージして、本校では授業や学校行事などすべての活動で右の5つの姿を目指しています。一つ一つに心を込めて取り組み、日々の生活の中で当たり前になってきたときに、それぞれがつながり、大きな力となっていくと考えています。職員も、子どもたちの「やってみよう!」「なぜ」「何?」に寄り添い、心を込めて子どもたちを支援する学校であり続けることを目指します。

5つの実現したい姿

- ① 学び合い
- ② 伝えよう、心の挨拶
- ③ 心を磨く清掃
- ④ 心に響く歌声
- ⑤ 心を耕す読書

(2) 主体的な生徒の育成を目指します

今年度の重点として、「生徒が自ら課題をもち、自分の言葉で伝え合い解決する力の育成」を掲げて、全職員で取り組んでいきます。

そのためには、子どもたちが何度でも「トライ&エラー」を繰り返し、アップデートしながら前に進んでいける教育環境が必要だと考えています。その上で、子どもたちの持った疑問を、子どもたちが互いに学びながら自分の力で解決していけるように全職員で支援していきます。子どもたちは、自らが学んだことによって、「わかった」「できた」を味わうことで自己肯定感が高まる、というようなよい循環が生まれるような学校を目指します。

また、人権教育の充実を図り、多様性を受け入れ、意見の相違が起きた際にも、折り合いをつけ、対話によって解決する機会を大切にすることを学校教育の基盤にして、授業づくり、集団づくりにおいても、一人一人の子どもを包み込むインクルーシブ教育を目指します。

さらに、GIGAスクール構想による一人一台タブレットを生かして、自分のペースで自律的に学びを進めるために、授業での活用はもちろんのこと、デジタル学習教材「eライブラリ」も活用しながら個に応じた学びを目指して取り組みます。

(3) 非違行為根絶からマイナスへ

「非違行為ゼロ」は当然、一歩進んで、青木中学校では、非違行為が起きるはずがないという信頼感を地域や保護者に与えることができるように、全職員がチームとなって取り組んで参ります。



我々職員は、生徒の皆さんの成長と共にありたいと切に願います。生徒の皆さんにとって必要なことを見極めながら、柔軟な学校運営に努めてまいります。ご心配なことがありましたら何とぞご相談ください。中学校職員一同、精一杯頑張ります。今年度も保護者、地域の方々、教育委員会、村当局のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



今年も新年度が始まり、気持ちも新たにあおきっ子たちをみんなで見守り、学校を応援していきましょう。今月号と一緒に「2023年度

青木村の教育」「あおきっ子教育ポイント5か条」を配布いたしましたので合わせてご覧ください。

